

群馬大学大学院理工学府物質・環境部門 教員公募

1. 職 名 教授

2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学

3. 所 属 大学院理工学府 物質・環境部門
(理工学部 物質・環境類 化学システム工学プログラム)

4. 業務内容 研 究

- ・ バイオマスや廃棄物等の劣質炭素系資源の物質・エネルギー転換プロセスの構築と地域社会を含めたシステム化を通し、社会実装のためのグローバルとローカルの両方の視点から脱化石資源化を指向する化学システム工学の研究
- ・ カーボンニュートラルの実現に向けた技術の社会実装を推進するための実践的な開発研究
- ・ 元素科学国際教育研究センターおよび関連する学部内センターに関するプロジェクト研究や実用化を目指したプロジェクト研究、産官学連携プロジェクト 等

教 育

- ・ 大学院・学部学生に対する教育・研究指導
- ・ 担当授業科目

【学部】〔専門教育〕

プロセスシステム工学、移動現象論、設計製図、設計製図実習、化学システム工学実験、化学システム工学演習Ⅰなど

〔教養教育〕

学びのリテラシー（１）など

【大学院】専門領域に関する授業、理工学特別演習、理工学特別実験、理工学専攻リサーチプロポーザル、国際インターンシップなど
その他、専門分野に関する教養教育科目を担当

管理運営・社会貢献

- ・ 理工学府の管理運営に関する業務
- ・ 理工学府、元素科学国際教育研究センターが進める社会貢献活動への参画・協力

5. 勤 務 地 桐生市天神町 1-5-1 桐生キャンパス

6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和 8 年 4 月 1 日 (以降のなるべく早い時期)
8. 専門分野 大分類：ものづくり技術
小分類：移動現象、反応工学、プロセスシステム工学、資源化学プロセス
9. 任 期 5 年
任期中に業績評価・審査を行い、適任となった者は任期の定めのない教員として雇用する。定年は満 65 歳の年度末とする。
10. 応募資格 次のいずれも満たす者
(1) 博士の学位を有する者
(2) 劣質炭素系資源の物質エネルギー転換プロセスの構築と地域社会システム化により脱化石資源化を指向する工学分野における優れた研究業績を有し、熱意と意欲を持って学生の教育と研究指導ができる方
(3) 社会貢献業務、学部運営業務等に積極的に関われる方
11. 給 与 年俸制適用 退職手当あり
本学教職員就業規則及び 2 号年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定
ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり
教職員就業規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf
2 号年俸制適用教員給与規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf
12. 就業時間 8：30～17：15 を基本として、専門業務型裁量労働制を適用
(1 日 7 時間 45 分働いたものとみなす)
13. 試用期間 6 か月
14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
年次有給休暇、特別休暇等
15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
16. 受動喫煙防止措置の状況 敷地内禁煙(ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置)

17. 応募締切 令和7年10月31日必着

18. 提出書類 (1) 教員個人調書(本学所定様式)
(2) 教育研究業績書(本学所定様式)
(3) 最近10年間の科学研究費補助金等の受給状況(本学所定様式)
(4) 主要論文5編程度の別刷りまたはコピー
(5) これまでの研究概要(2,000字程度)
(6) 教育、研究についての抱負(2,000字程度)
(7) 応募者について意見を伺える方2名の氏名、所属及び連絡先

19. 書類送付先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町一丁目5-1
群馬大学大学院理工学府 物質・環境部門
化学システム工学プログラム長 森本 英行
簡易書留にて「物質・環境類 化学システム工学プログラム分野教員応募書類」と朱書きのうえ、郵送願います。
なお、提出書類は原則として返却いたしません。

20. 選考内容 書類選考の上、合格者に対し面接(プレゼンテーションや模擬授業を含む)を実施
面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担

21. 問い合わせ先 群馬大学大学院理工学府 物質・環境部門 化学システム工学プログラム長 森本 英行
電話:0277-30-1383
e-mail:hmorimoto@gunma-u.ac.jp

22. その他

- (1) 応募書類に記載された個人情報、本選考以外の目的には使用しません。
- (2) 群馬大学では、研究者の多様性を高めるため、若手研究者や女性研究者、外国人研究者の採用促進に取り組んでいます。
若手研究者や女性研究者、外国人研究者の研究環境を整備するための支援として、着任時にスタートアップ経費を配分します。
- (3) 群馬大学は男女共同参画を推進しており、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献等)及び人物の評価において同等と認められた場合には、積極的に女性を採用します。
なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。
(リンク先: https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_links/)